

Y07a JAXA における宇宙教育活動 -きみっしょん参加者たちの追跡調査-

斎藤 靖之(東大理・宇宙研)、福原 哲哉(総研大・宇宙研)、小山 孝一郎(宇宙研)

宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部では(以下宇宙研) その前身である文部科学省・宇宙科学研究所時代から高校生を対象とした体験学習「君が作る宇宙ミッション」(以下きみっしょん)を2002年度から毎年開催している。昨年に第3回を迎えた契機に、きみっしょんがどのような役割を果たしているのかについて第1回の参加高校生たちの追跡調査を行った結果を報告する。

第1回きみっしょんが行われた3年前に高校1-3年生だった当時の参加者たちは現在、高校3年生-大学2年生となっておりそれぞれの場で活躍している。そこで彼ら・彼女らを対象に・今現在、どのようなことに興味を持っているのか、・きみっしょんに参加してどのような考えを持っているのか、についてアンケートを行った。その結果、きみっしょんに参加して現在大学生あるいは高等専門学校の上級生以上となっている参加者たちの多くは、自らが科学館でのボランティアを行ったり、YACのような団体のリーダーとなるなどの後進教育に積極的な姿勢が見られることがわかった。きみっしょん参加の前から興味の対象に対して意欲的であった彼らが、きみっしょん終了後にさらに後進教育に対しても積極的な姿勢を示すようになった。これはきみっしょんが将来的な科学教育に対しても、有効に機能し始めていることの現れであるといえる。

本講演では、さらに参加のきっかけについてアンケート結果を踏まえて紹介し、今後のきみっしょんへのフィードバックについての検討結果を報告する。

なお、第3回きみっしょんからは総合研究大学院大学との共催で行われている。